

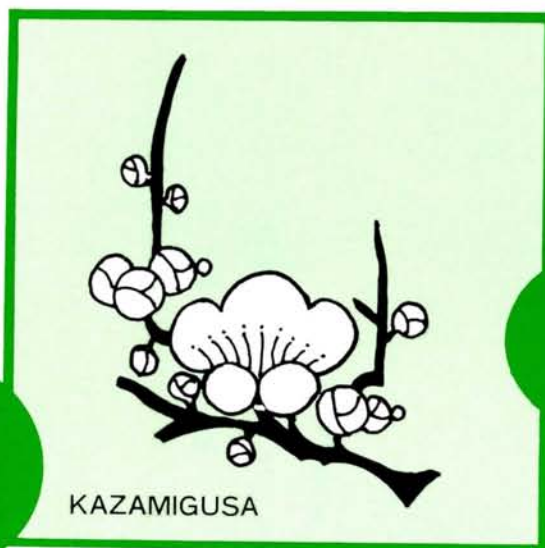
# 近畿大学中央図書館報

# 香散見草

10周年記念号

**1996. 3**

**第25号**



KAZAMIGUSA

## 目 次

☆「香散見草」記念号によせて……………	1
☆Alltag in Japan バイエルン州立図書館 「江戸時代名所図展览会」……………	2
☆インターネット・電子図書館時代と司書……………	6
☆館蔵〈光悦謡本〉『矢卓鴨』のことども……………	13
☆本・図書館への思いーちょっとひと言ー……………	17
☆館員からひと言……………	24
☆中央図書館日誌抄・編集後記……………	26
☆別冊 1～24号 目次・索引……………	

香散見草

山里の軒はにさけるかさみくさ

色をも香をも誰みはやさん

(蔵玉和歌集)

# 図書館においでよ!! ~館員からのメッセージ~

中央図書館は、館長より庶務課・整理課・図書閲覧課・雑誌閲覧課から成り、日々利用者のお役に立とうと頑張っております。そんな私たちの「利用者の皆さまへ」「大学図書館とは？」等々の声を聞いてください。

・情報発信のプラザ  
館長 松原 義治  
・大量化多様化する情報資源への迅速的確なアクセスを目指して  
戸高 早士  
・知識・情報の発信基地  
溝邊 典紀  
・古きを温ねて新しきを知る  
河合 忠信

## 図書閲覧課

- ・知識の源 情報の源  
和田 修治
- ・大学の顔・学生重視・知識獲得無限空間・学問羅針盤  
榎本 保
- ・情報は実をむすぶための土壌  
矢谷 和信
- ・図書館は書籍とのふれあい、心のゆとりの場  
森田 幸恵

## 雑誌閲覧課

- ・『雑誌記事索引』CD-ROM版の更なる活用を望みます。  
森上 修
- ・読む魅力。感動する新鮮さ。得る情報。心豊に一步前進。  
森 牧子
- ・図書館の本はみんなが使うもの、だから肝心あなたのマナー  
森岡美知子

## 整理課

- ・情報、知識の宝庫である図書館を活用しよう。  
深貝 幹雄
- ・きっと、何かが見つかる。何かに出会えるはず！  
日栄さとみ
- ・報われたっていいはずだーと思う。by 洋書係  
お願い、読んで。  
武田 美紀
- ・図書館の小さな窓から広い世界をのぞいてみましょう。  
松野 千尋

## 庶務課

- ・図書館は歴史の歩み、未来の宝庫  
岡本 仁
- ・「BOROを着てても心は錦」中身で勝負？  
山元 秀明
- ・今後もっと学生のニーズに答えられる様自分なりにがんばりたい。  
井村 泰明
- ・きっと出会えるヨ、思い出になる本に！！  
下村 知寿

※ 平成8年3月の発行予定だったため平成8年3月現在のメンバーを掲載しております。



- ・図書館は、知識を得るための出合の場である。  
石橋 邦彦
- ・やわらか頭で図書にふれてみてください。  
きっと何かうまれますよ。 山元 壽子
- ・情報社会であっても機械にない人間から人間への  
サービス（優しさ）が基本 熊井あづさ
- ・知的空間への入館ゲート  
柏原美千代

- ・図書は情報の宝庫であり情報サービス提供の場でも  
あります。 中村久美子
- ・本のなかで、自分にできない未知の体験を試してみ  
ましょう。 近藤 裕子
- ・図書は知性をたかめる  
川原サヨ子

- ・皆さんの協力が必要です。新館、新しい図書館を  
めざしましょう！ 中尾 民子
- ・だれのための図書館  
津灘 直和
- ・進歩する図書館の中で、より一層本との出会いを  
大切にしたい。 泉野 睦美



- ・「学生の本分は勉学である！」  
・・・自らの反省を込めて 牛島 裕
- ・本と仲良くなるには？  
いっぱい“KISS”すること♡ 永井由美子
- ・書物の扉を開け！その彼方には限りない世界が広  
がっている。 左近 町子
- ・図書館は、ぼくのわたしのどこでもドア  
金子奈保美

- ・KISSには色々な機能があり、図書館の利用に大  
変役立ちます。 廣田 晋子
- ・図書館で“使う程減らずに増える知識かな”で感  
じちゃう!? 柏木さゆり
- ・みんなの輪！  
浅野 礼子



- ・大学？教育と研究を通して社会に貢献する？近畿  
大学は違うの？ 寺尾 隆
- ・書架に並ぶ書物が一度でも多く手にとってもらえ  
ますように。 徳山 京子



- ・歴史街道  
前 健次
- ・図書館は知識の神殿、宝庫であり、思考の生産場  
である。 井村 徹
- ・資料は、みんなのもの。より多く、より美しくご  
利用を。 佐々木潤子

- ・図書館でひと休み。もう一人のあなたを見つけて  
みませんか 岡 友美子
- ・利用されてなんぼの世界、どうぞご利用を！  
仁田 学
- ・精読、速読、乱読、積読、どれにしますか？  
森恒 佳子

## 中央図書館日誌抄

- 平成7年7月3日～14日  
通信教育部 図書館実習 4名
- 平成7年7月11日  
大阪公立高等学校社会科教育研究会（地理部会）より来館  
稀観書見学のため
- 平成7年8月22日～9月1日  
通信教育部 図書館実習 8名
- 平成7年9月18日  
大阪薬科大学同窓会役員2名来館  
図書館見学のため
- 平成7年9月26日  
利用者端末“KISS”講習会
- 平成7年9月28日  
利用者端末“KISS<sup>2</sup>”講習会
- 平成7年10月2日～13日  
通信教育部 図書館実習 4名
- 平成7年10月25日  
利用者端末“KISS”講習会
- 平成7年11月6日～17日  
通信教育部 図書館実習 3名
- 平成7年11月16日～17日  
中央図書館蔵稀観書展
- 平成7年11月22日  
利用者端末“KISS”講習会
- 平成7年12月4日～15日  
通信教育部 図書館実習 4名
- 平成7年12月13日  
大阪府高等学校理化教育研究会より物理研究委員来館  
稀観書見学のため
- 平成8年1月26日  
町田市立国際版画美術館より2名来館  
稀観書閲覧のため

## 編集後記

いろいろな不安を抱えながら始まった本誌も、誕生から早や10年を迎えた。そこで、発刊当日の世情を振り返ろうと、古新聞を紐解いた。ながめるうちに、1面及び社会面において、そのトップを占領している記事に、宮内庁待従長の入江相政翁の死去を報じたものがあつたのに、少し驚いた。別に、翁の死去を軽視するつもりは毛頭ない。ただ、10年前のまだ平和であつた日本をなつかしく回想するとともに、かくも変わり果てた10年後の今日の世情を嘆かずにはいられなかつた。

すなわち、昨今の新聞紙上においては、地下鉄サリンなどにみられるカルト教団による非人道的無差別殺人や、不滅神話を誇った金融機関の崩壊、バブルの後遺症たる『住専』問題は今や世界的な流行語となり、エイズ被害にみる史上最悪の人的災疫の悲惨さ・・・等枚挙に暇がない。このように、あれもこれもとつぎつぎ起こる事象の大きさに、冒頭に述べた『驚いた』根拠がある。

これらの社会的事象のもたらす影響力を考えたとき、さらにこの先の10年後を想像することが、ときに恐ろしいような気がしないでもない。

『10年ひとむかし』と言う言葉があるが、この10年間で世の中がかくも騒々しく変わってしまったことに、『ぼんやりとした不安』を感じるのには、自分だけであろうか。

さて、近畿大学中央図書館でも、10年後を視野におきながら、コンピューターを活用した学術情報のデータベース化、ネットワークへの対応といった今日的な課題にも積極的に取り組んでおりますのでよろしくお願い申し上げます。

今回の記念号発刊に際しましては、野田起一郎学長をはじめ執筆者各位よりすばらしい原稿をいただき、スタッフ一同感謝しております。誠にありがとうございました。

また、今回の発行がたいへん遅れましたことを心よりおわび申し上げます。

近畿大学中央図書館報 香散見草 25号

1996年5月発行

編集・発行 近畿大学中央図書館

〒577 東大阪市小若江3丁目4番1号

TEL(06)721-2332